

9 / 24 校長室より No.94

22日(木)、町内各小学校の6年生が来校し、集合学習及び壮行式参観を行いました。集合学習は数学の授業。入学してすぐ習う「正の数・負の数」のイントロダクションとしての内容でした。壮行式では、整然とした行進や迫力のある応援、力強いあいさつを見てもらえたと思います。

6年生の皆さんが中学校のようすを少しでも理解し、小中のギャップを埋めるとともに、中学校にあこがれや期待を持って入学してくれることを望みます。



9月22日(木)付山形新聞に、1年生の町内SDGs施設訪問のようすを取り上げていただきました。

飯豊中生 バイオガス発電所やエコタウン

町内巡りSDGs学ぶ

飯豊町飯豊中（金田孝善校長）の1年生41人は12日、町内のバイオガス発電所など3カ所を巡り、SDGs（持続可能な開発目標）に関する理解を深めた。

町の魅力や課題を知り3年次に町おこしの活動を行うため、総合学習の一環として本年度から実施。この日は、牛の排せつ物を活用して発電する「ながめやまバイオガス発電所」と、環境に配慮した飯豊型エコハウスが立ち並ぶ住宅団地「エコタウン椿」、小水力発電所「白川いいで発電所」を訪問した。

生徒たちはバイオガス発電所で、運営する東北おひさま発電（長井市）の後藤博信社長から、発電の仕組みや年間発電量が一般家庭約900世帯分に相当することなどの説明を受けた。メモを取りながら熱心に話を聞き、見学した。

井上栞里さん(13)は「排せつ物を使って発電しているというのは新しい発見だった。もっと町内のことを知り、情報発信できるようにしたい」と意欲的だった。13日にも町内の観光地や公民館などを回り、地域について知見を広げた。

(小池拓海)

ことなどの説明を受けた。メモを取りながら熱心に話を聞き、見学した。

井上栞里さん(13)は「排せつ物を使って発電しているというのは新しい発見だった。もっと町内のことを知り、情報発信できるようにしたい」と意欲的だった。13日にも町内の観光地や公民館などを回り、地域について知見を広げた。

(小池拓海)



後藤博信社長（左）から発電所の説明を受ける生徒

飯豊町

あすの予定

【川西】◇…東北タリヤ名花展は午前9時、川西タリヤ園。25日まで。

【白鷹】◇…白鷹若鮎マラソン大会は午前7時50分、蚕桑小スタート。

紙面編集・阿部春美

本日の新人戦。野球はグラウンドの状況もあり雨天延期となりましたが、他の競技は外の部も含めて予定通り実施です。選手を見送ったときは、緊張気味の生徒もいましたが、それでも決意を秘めた表情で、元気に出発していきました。 **祈健闘!**